

文芸 くらがわ

短歌

【岩瀬短歌会】

よくもまあ空空しくも言えたもの「俺、
ほんどだよ虫殺せない」

鈴木英雄

若き日に幾度も頼りし顔役も亡くなり
地区に空き家増えゆく

雨谷友子

紺碧こんぺきの空へひとすじ立つけむり愚直に
生きし兄をおくりぬ

渡辺しな子

筑波嶺の岩上に座してしばらくは心を
無にして蒼穹そうきゆうあおぐ

泉三郎

色どりの無き日々なれどイトヒバの間
に見ゆる今日の青空

古賀澄

おおぞらへ銀杏いんぎよう黄葉おうもみぢを吹き上げて木枯
らし一号ただいま参上

川崎邦子

はるばると北の空から渡り来し白鳥の
安堵の声か涙ぐましも

大久保富美江

初春の空はわがものゆうゆうと鶯がお
おきく輪を描いている

瀧田勇

母に手を引かれてゆきしサーカスの空
中ブランコいまに忘れず

浜野和操

十五分のみ鉄窓から見たる空のあお六
年も拘束されし男の手記に

小林美瑛子

窓越しの陽射しにまどろむ猫がいるす
るすみの幸せ堪能するか

久保悦子

思いこめ獅子座流星に祈りたるわれに
嬉しや幸運つづく

児玉廣子

山辺の田に空中散布するラジコンヘリ
蛭の棲める小川を避けて

瀧井幸子

仰ぎみる無窮の空はちっぽけなわが悲
しみなど一顧だにせず

大関登志子

空そらさんの今日の気分は秋の山自然界で
はファッションリーダー

デバージリス実奈

朝空に広がり縮みまた散つて群れ飛ぶ
鳥をうらやましく見る

広沢日出子

【一般投稿】

古都真壁女びな男びなうれしそう三年
ぶりのひなまつり

青木勲

俚謡

【さくら俚謡会】

梅が咲いたと鶯呼べば今や少子化悪し
からず

山もみじ

百歳万才自信に満ちた春の笑顔があた
たかい

花野しぐれ

晴れの正月立春も来た春が二回でなせ
寒い

みーちゃん

閏如月期待の五輪パりに靡かせ日章旗

田哲人

俳句

【一般投稿】

寒夕焼け富士を拝する桜川

浅賀順子

神木を鬼門に祀り春をまつ

長堀勉

老いの夫並びて座わる廻る寿し

長堀芳江

耳澄ませひばりの声に響く空

友常小蝶

Hinato
Hinami

未来に、社会に、
必要とされる印刷を



株式会社 デジタル印刷

事務所・工場 ☎ 0296-54-2626
つくば事務所 ☎ 029-877-1331
URL <https://digi-pri.com>



安心と笑顔を未来へつなぐ



稲川優子税理士事務所

桜川市西飯岡475-2

☎ 0296-73-6363

E-mail INA-TAX.CEO@tkcnf.or.jp